

## 令和5年度 東京都立第五商業高等学校経営報告（定時制課程）

本校は、昭和23年に定時制課程の設置が許可されてから72年の伝統に支えられた、多摩地区唯一の商業高校である。開校以来、地域に根ざした教育を実践し、これまで4千名以上の卒業生を輩出し、各方面で活躍している。商業の専門高校としての本校は商業の専門高校としての使命を果たすため、商業に関する専門的知識と技術を習得させ、人間性を磨き、社会を支える一員であることの自覚のもとに、望ましい勤労観・職業観を養い、自己実現に主体的・創造的に取り組む人間を育成していく。

<b>重点項目</b>	〔評価基準 A：満足 B：概ね満足 C：もう一歩〕※（ ）内の数値は令和3年実績
-------------	--

### 1 学校経営・組織体制

教職員の有する教育力を最大限に発揮できるよう、働き方改革、ライフ・ワーク・バランスを推進して、校内環境の整備と健康管理に努める。

今年度の取組目標	具体的な取り組み状況	評価
①組織力を強化した 学校運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画調整会議をとおり、学校課題の解決に向け各業務を効率的に行い、各教科や校務分掌の間まとめ・年間総括にもとづいた課題解決と自律経営推進予算の効果的な編成実施管理に取り組み円滑な学校運営に努めた。</li> <li>※学校経営の適正化のため、業務のPDCAサイクルを定着させ、組織の改善・充実に努めていく必要がある。</li> </ul>	B
②組織的なIT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTリーダー、ホームページ管理運営委員会等を中心に、ホームページでの発信を行った。</li> <li>※ICTリーダー・ICT支援員を中心に定時制でも計画的にIT化を進めていく。</li> <li>※年に数回は定期考査のマークシート方式の導入を推進し校務のIT化を進めていく。</li> </ul>	B
③喫緊課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修や毎日の打ち合わせをとおり自覚ある行動を促し、服務事故0件、体罰のない指導の徹底に努めた。</li> <li>・新教育課程を実施し、入選ではインターネット出願を実施した。</li> </ul>	B

### 2 学習指導

少人数制指導等の授業形態を工夫するとともに、次期学習指導要領に向けた主体的・対話的で深い学びによる指導と評価を研究開発して、教務部を中心に組織的な授業改善・充実化を図り質の高い学習指導を実現する。

今年度の取組目標	具体的な取り組み状況	評価
----------	------------	----

①指導力の向上	<p>・教務部を中心に、生徒による授業評価、授業公開等、学校内外での研修成果をいかし、組織的に授業の内容と方法の改善・充実を図り、学習指導の充実に努めた。</p> <p>・今後も全教科で教科の特性や生徒の興味関心を捉え、計画的に外部講師等によるセミナーを開催するなどして、学ぶ意欲を高める。</p> <p>※個々の生徒の特性に応じた学習形態を中心とした日常的なOJTは推進できたが、教員相互の授業参観、校内研修を計画的に推進する必要がある。</p>	B
②読書に親しみ、読書率の向上を図る	<p>・全日制課程の教務部や司書教諭と連携し、利用しやすい図書館運営、読書活動の推進など、社会人としての感性をはぐむ教育環境を整えた。今後も図書館蔵書の更なる充実化を図る。</p> <p>※図書館を活用した授業や、読書活動の推進につながる授業を実施した。図書館や各教科と連携して、夏季休業期間中の課題図書を選定等、読書指導計画の策定及び実施をととして未読者率の更なる減少を図る。</p>	B
③学力の向上	<p>・教務部を中心に、主体的・対話的で深い学びの指導や評価について研究しながら、本校の教育課程にもとづいた質の保証を図った。また、少人数制指導等の授業形態を工夫するとともに、新学習指導要領での指導と評価を研究し、組織的な授業改善・充実につなげる努力をした。</p> <p>※語学を育成する授業の充実、小・中学校の学習内容を踏まえた発達段階に応じた授業と、教科横断的な授業の実施をさらに推進する必要がある。その上で、学力の定着、向上を定期考査等で分析し、生徒や保護者にフィードバックし、着実な定着を図っていききたい。</p>	B
④資格取得推進	<p>・資格取得を年間指導計画の重点事項に位置付け、該当教科が組織的に指導の強化に努めた。また、人間と社会、教科指導をととして、資格取得のガイダンスを強化し、生徒に目標をもたせ、学期ごとの通知表等でその成果を確認、終業式等で表彰するなどして次の励みとなるように工夫を図っている。</p> <p>※多様な生徒に対応した教科指導の充実、補習の実施と拡充、個別の支援等を重ね、様々な資格取得に取り組ませ、進路実現にいかしたい。</p> <p>日検文書デザイン 1級 取得 2名 (2名)</p> <p>日検情報処理(表計算) 1級取得 2名</p>	B

### 3 生活指導・特別活動・健康づくり

都の生活指導指針のもと、規範意識の向上、もと本的な生活習慣の確立、マナー教育の充実に努める。

「人間と社会」の体験学習をととして、奉仕や道徳、勤労観・職業観の精神を涵養するとともに、意図的、計画的、系統的なキャリア教育を進める。

授業や特別活動等をととして、生徒自ら積極的に心身を鍛える教育環境を整え、体力向上と校内相談体制を高めて心身の健全な育成に努める。

今年度の取組目標	具体的な取り組み状況	評価
①本校の生活指導規	・生活指導部が中心となり、登校時の正門での挨拶・交通安全、学校施設の適切な使用等の徹底	

<p>準に則った生活指導の徹底</p>	<p>を図り、規範意識の向上、基本的な生活習慣の確立、マナー教育の充実に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自らの行動に責任をもつ生徒」の育成を基本に、組織的な生徒指導体制を継続した。</li> <li>・生徒一人一人が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付け、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができるための支援を行った。</li> <li>・「進んで挨拶する学校」「きちんと人の話を聴ける学校」「身だしなみの整った学校」「時間が守れる学校」「清掃がゆきとどいた学校」の5点を生活指導の重点とし今後も指導していく。</li> </ul> <p>※今後も問題行動の早期発見と未然防止に努め、校門指導や校内外の巡回指導を行う。</p>	<p>A</p>
<p>②生徒が主体的・意欲的に参加する魅力ある学校・学校行事の工夫・改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事やH R 活動にあたり、生徒の積極性・主体性、協調性・計画性、創意工夫等を高める指導・援助を担任や行事担当者が協力して行った。</li> </ul> <p>※レッツ五商や校外行事等の学校行事を生徒の自主的、主体的な活動を促す場として活用し、生徒の自立的な態度の育成を図るとともに学校への帰属意識を養っていききたい。</p>	<p>A</p>
<p>③部活動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の特性に応じた部活動を重点的に支援し、互いに協力し合う連帯意識の涵養を図る。</li> <li>・部活動や特別活動への参加を奨励し、各種競技会への参加と入賞を目指したい。</li> </ul> <p>※生徒数減で部活動を維持することが課題である。</p>	<p>B</p>
<p>④豊かな国際感覚とボランティア精神を育む資質や能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人英語等教育指導員の助力を得ながら、言語活動の充実を進め、語学・国際感覚などとおして、共に生きる国際協調の精神を培った。</li> <li>・外部指導者と連携した指導体制を構築し、各教科で日本の伝統・文化、国際交流、国際理解教育を推進した。</li> </ul> <p>※手話講座を「人間と社会」の学習の中で実施できた。</p>	<p>B</p>
<p>⑤保健・健康教育の推進・心の教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健相談部や保健体育科を中心に、食育や、心身の健康、体力の向上等に関する全体計画を作成し、組織的な指導体制を構築し、取り組むとともに、生徒の委員会活動を活性化させる努力をした。</li> <li>・保健相談部が中心となり、各学年、スクールカウンセラー等と協力し、美化や保健、心身の健康について、よりよい環境づくりに主体的に関わろうとする生徒の育成を図った。</li> </ul> <p>※給食喫食率 45.0% (47.0%)</p> <p>※スクールカウンセラーと連携を図るとともに、特別支援教育についての校内体制を構築し、本校の教育相談機能の更なる向上を図った。また、生徒の心身の健康・体力の向上を図るとともに、学校行事、H R 活動、生徒会活動、部活動等とおして、体罰やいじめの根絶を継続している。</p>	<p>B</p>

⑥主権者教育の推進	<p>・生徒会の選挙公約の実現や、生徒の自治活動の推進など、生徒会活動の活性化を図り、リーダーを育成したい。生徒会役員、各委員会、部活動部長が主体となる特別活動の推進を行った。</p> <p>※授業や特別活動、防災教育等により、地域貢献を果たし、生徒の自己有用感・達成感を高め、社会の一員としての自覚を育んだ。</p>	B
⑦セーフティ教室、防災訓練の実施・美化意識の向上☆	<p>・防災教育の充実を年間活動計画の重点項目とし、具体的な対応能力を育成するとともに、防災意識の涵養を図った。</p> <p>・夜間の教育活動中の大地震などを想定した防災体制の構築や、防災支援隊による避難所の運営など、防災教育を確実に実施して備えた。</p> <p>・教室内の清掃、授業規律の徹底を図り、落ち着きのある授業を実施することで、生徒が主体的に学ぼうとする態度を確立し授業効果を高めた。また、美化活動を通じた地域貢献の充実を図った。</p> <p>※停電を想定した暗い中での避難訓練を実施するなど、生徒の安全管理、防災対策の充実化を図った。</p> <p>※コロナ禍の中、教室からごみ箱を撤去した生活を継続することが、学校全体のごみの減量につながり今後の社会を考える契機となった。</p> <p>※セーフティ教室にて、インターネットの適切な使用、交通安全、薬物乱用防止等の講演会を開催し生徒の規範意識を高めた。</p>	A
⑧生命・人権尊重教育の推進、豊かな心の育成	<p>・保健相談部や保健体育科が中心に、食育や、心身の健康、体力の向上等に関する全体計画を作成し、指導に取り組むとともに、生徒の委員会活動を活性化させた。</p> <p>・生活指導部が中心となり、各学年や生徒会等と連携協力して、登校時の正門での挨拶、学校施設の適切な使用等の徹底を図った。また、「人間と社会」等の学習をとおして、地域と連携した活動から生徒の環境意識、貢献意欲を高めるとともに、生徒が主体的に行動できる力を身に付けさせた。</p> <p>・スクールカウンセラーによるカウンセリングをとおして、生徒の抱える諸問題を心の面から捉え、外部医療機関等と連携、協力して組織的に自殺対策に資する教育を推進し、S O S の出し方の教育を推進する。</p> <p>※全教員が協力して、毎日校門に立つなど生徒の規範意識の向上、帰属意識の醸成を図れた。</p> <p>※生徒や保護者との信頼関係を構築し、教員間で情報を共有することにより、生命尊重やいじめ等の生徒の事故や事件を未然に防止する指導体制及び取組を推進する。</p> <p>※全教育活動をとおして総合的な人格形成、人づくりを行い、生徒の目標を高いレベルで実現させ、生徒の心身の健康・体力の向上を図るとともに、強い心を育みたい。</p>	A
⑨体力向上の推進	<p>・保健体育科が中心となって、学校全体で生徒の体力の総合的な向上を図る努力をした。</p>	

	<p>※体育の授業の中でダンスに取り組み、生徒に挑戦させた。</p> <p>※学年ごとに授業体系を工夫し、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てたい。</p>	B
⑩教職員の健康維持 管理の推進・教職員 のライフ・ワーク・バラ ンスの推進	<p>・定期健康診断受診 100%を目指し、教職員自身が健康管理や心身の健康保持と改善に努める。</p> <p>・「学校における働き方改革推進プラン」にもとづき、教職員が自宅勤務、時差通勤を弾力的に運用し週に1日以上、定時退庁ができるよう工夫して実行できるように推奨した。</p> <p>・超過勤務の実態を把握するとともに、校内環境の整備と教職員の健康管理に努めた。</p> <p>【状況】健康診断受診率 80.9% (67.2%)</p> <p>【状況】年休15日以上全員取得 時間外労働45時間超えの教員0名</p>	B

#### 4 進路指導

4年間を見据えたキャリア教育(進路指導)の在り方の改善を図りつつ、進路指導を全教員により計画的に行い、生徒の希望進路の実現を図れるよう努める。

今年度の取組目標	具体的な取り組み状況	評価
①連携と情報の共有	<p>・校内研修や情報交換会を実施し、学校全体で生徒の夢・希望との出会いや自己実現に向けての支援、困難に立ち向かう意欲等を育成してきた。</p> <p>・進路ガイダンスや体験学習をととして、生徒へ適切な情報提供に努め、それらを生徒自らが活用できるよう外部関係機関との連携を強化した。</p> <p>※今後も進路ガイダンスや体験学習を通じて、生徒への適切な進路情報の提供に努め、それらを、生徒自らが活用できるよう整備等を進めていく。</p>	B
②キャリア教育の充実	<p>【取組】進路指導部が中心となり各分掌と連携し、キャリア教育の全体計画にもとづく4年間を見通した進路指導の改善と充実を図り、卒業後のフォローアップ指導も含めた進学先や就職先の拡大に努めた。</p> <p>※社会人として必要な基礎学力の充実を図り、自己の適性や能力に合った進路決定が主体的にできるよう入学時から系統的、意図的、計画的に指導したい。</p> <p>※人間と社会等の体験学習をととして、奉仕や道徳、勤労観・職業観の精神を涵養し、総合的な人格形成、人づくりを行い、生徒の進路希望を高いレベルで実現させるための努力をしていきたい。</p>	B

	【状況】就職 1名（3名）、進学 1名（1名）	
--	-------------------------	--

## 5 募集・広報活動

積極的に情報発信に努め、本校の果たす役割と意義について地域社会への浸透を図る。

今年度の取組目標	具体的な取り組み状況	評価
①学校情報の発信	<p>・学校からの日常の連絡やメール配信、ホームページの充実、保護者会等の開催により、家庭と学校との緊密化を図った。今後も各家庭との学習、生活、進路等についての情報を共有し、諸課題の解決に向け努力を続けていく。</p> <p>・ホームページの更新を適時実施し、生徒の活躍など、五商の取組を積極的に発信して学校広報活動を推進する。</p> <p>※台風や大雨等の際、学校からのメール配信が確実に届くように、学校メールの登録率を100%にする必要がある。</p>	B
②開かれた学校の推進	<p>・開かれた学校づくりを推進するため、学校運営連絡協議会の評価等を活用するとともに、学校説明会や授業公開をととして地域や家庭との連携を図り、本校の教育活動についての理解を推進した。</p> <p>・地域ボランティア等への参画、学期末の地域美化活動を通じた地域貢献、部活動における地域連携協力の充実を図り、本校定時制の活動の様子を積極的に発信し、地域社会への浸透を図っていく。</p> <p>※校外清掃の実施 2回</p>	B
③募集・広報活動の充実	<p>・ホームページを適時更新し、本校定時制課程の教育活動の状況などを積極的に発信し、学校広報活動を充実させるとともに、中学生や保護者の定時制・商業高校に対するニーズを把握し、学校案内やチラシを工夫するなどして充実を図りたい。</p> <p>※応募倍率 0.20倍（0.20倍）</p>	B

【重点目標達成のための具体的方策】

重点目標	具体的な数値目標
①組織力を強化した 学校運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケート回収率 生徒 95%以上</li> <li>保護者 95%以上</li> <li>地域住民 20%以上</li> <li>教職員 100%以上</li> </ul>
②カリキュラムマネジメ ントによる教育内容の 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による授業評価において以下の数値を目指す。</li> <li>熱心に指導してくれる先生が多い 80%以上</li> <li>資格取得に興味や価値を感じている 80%以上</li> </ul>
③進路実績・生活・心 身の健康・体力の向 上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望達成率 90%以上</li> <li>・進路説明会 年 1回以上</li> <li>・在り方・生き方を踏まえた進路講演会 年 1回以上</li> <li>・学校評価の「進路指導満足度」肯定的回答 80%以上</li> <li>・学校評価アンケートにおける生徒の学校行事への満足度 70%以上</li> </ul>
④学年経営力、学級 経営力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動加入率 90%以上</li> <li>・奉仕体験活動、地域交流、ボランティア活動参加 年 2回以上</li> <li>・健康講話・交通安全教室・セーフティ教室・精神科医による学校保健支援事業の実施 年 4回以上</li> <li>・体力テスト前年度5%増、健康診断受診率 100%</li> </ul>
⑤地域や家庭との連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会の延べ参加者数 20人以上（保護者含む）</li> </ul>

携強化、目的意識や	・ホームページの更新回数	週 1回以上
学力の高い生徒の入	・生徒による授業評価による校内研修	年 2回以上
学	・研究授業	年 3回以上